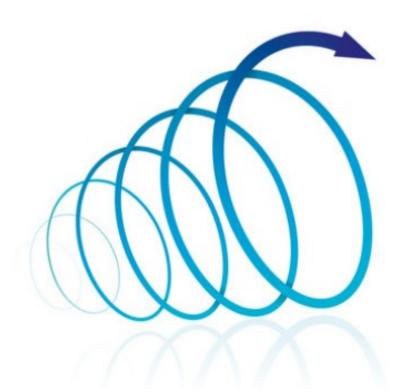
3.おわりに

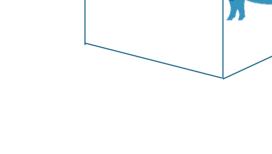
プラスのスパイラル



養豚場の防疫を考える 危険要因



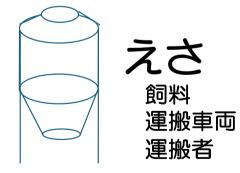




畜舎

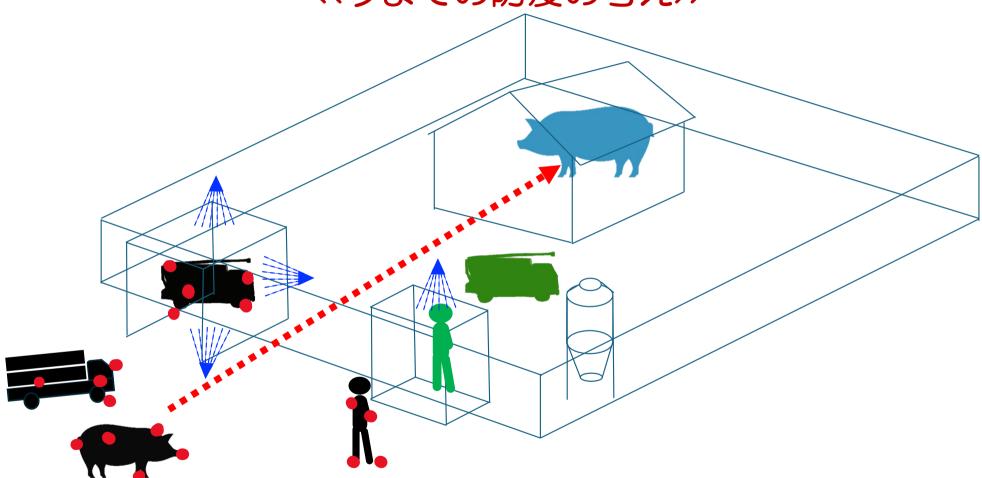


出荷車両



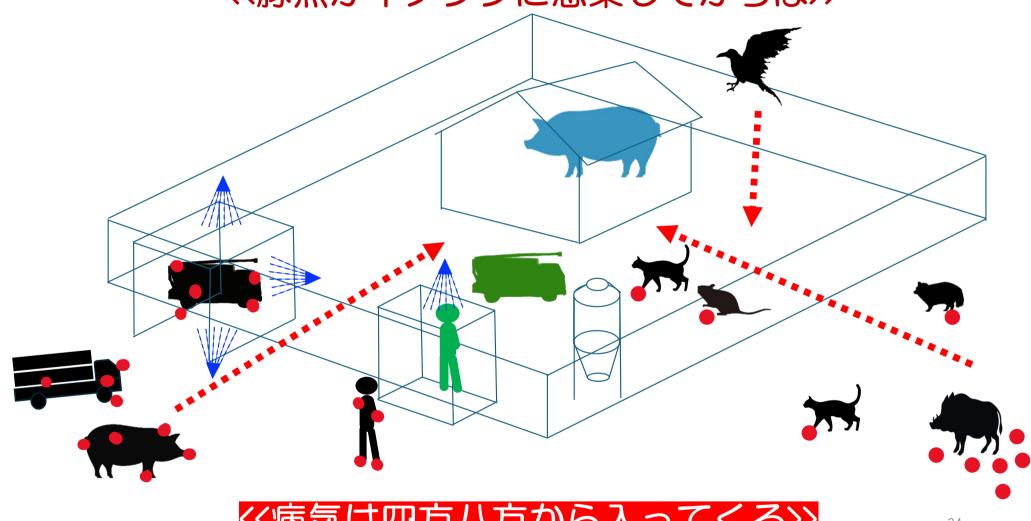
豚

〈〈今までの防疫の考え〉〉



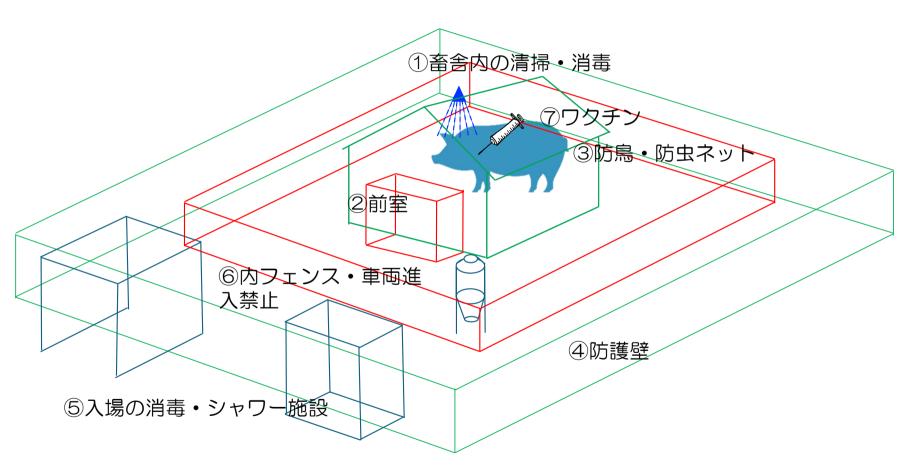
〈〈病気は入り口から入ってくる〉〉

〈〈豚熱がイノシシに感染してからは〉〉



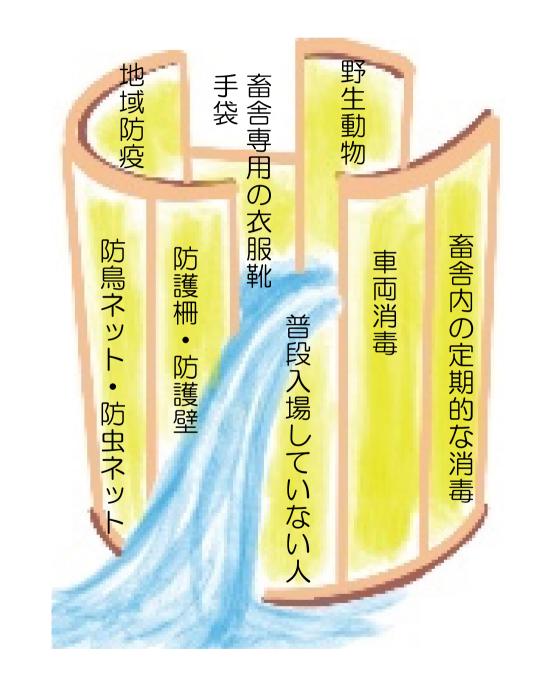
<<病気は四方八方から入ってくる>>

〈〈豚熱・アフリカ豚熱の防疫〉〉

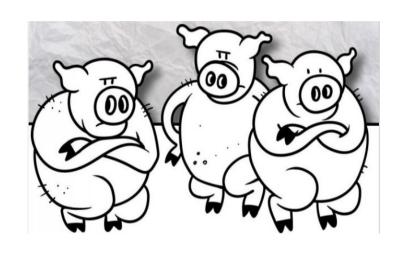


バイオセキュリ ティはアミノ酸の 樽の原理と同じ

農場に関わる全ての人が同じ事が出来ることが最も重要である。



病気と戦わない養豚が一番利益が高い



病気の対応の延長線上にCSF&ASFの対応があります。

- 我々がすることは、まず、今問題になっている病気を撲滅することです。
- ASFやCSFの対応より先にすることがあります。それはPRRS、マイコプラズマ肺炎、 胸膜性肺炎、PEDの対応です。
- step1 新しい病気を入れない
- step2 農場内に病気を拡げない
- step3 病気のコントロール
- step4 病気の撲滅